

23春闘交渉速報

第6回交渉 夏季手当・ベースアップ、コロナ関連

ベア13,000円、夏季手当3・2カ月を再度、強く要求！

物価高・コロナ禍で、働く社員に報いるべきだ

- ◎国労は安定的支給月数2・7カ月分に、この間の期末手当低額補填分と新型コロナウイルスの感染リスクがあるなか、安全・安定輸送を遂行している社員の奮闘を含め、3・2カ月の夏季手当を求める。
- ◎会社は「人材こそが最大の経営資源」と言われる。物価高騰で生活に苦しんでいる社員・人材へ、今こそ投資する必要だと考えるので、ベア13,000円に会社として応えるべきだ。



- ◎政府が発表した3月13日以降のマスクの取り扱いは、どの様になるのか。

会社：13日以降は新幹線も在来線も、車内や駅構内でおこなっていたお客様に対してのマスク着用の呼びかけはせず、ラッシュ時を含めてお客様の判断に委ねる。駅員・乗務員など、接客にあたる社員は引き続きマスク着用になる。各系統・現場等の対応は、13日までに各鉄事から詳細が示される予定。

詳細は交渉情報参照

ベースアップは社員と家族の願い

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：寺崎 浩